桜の聖母学院新聞

発行所
福島市野田町七丁目11番1号
桜の聖母学院高校新聞部

校歌

美しきわがまなびや
山脈はめぐりて高きその姿
黄金なすそのやすらいに
汝をば育み
黄金なすそのやすらいに
みそらはほほえむ

紙面紹介

2面●東京外国語大学キャンパス見学記
●今年度の大学受験合格体験記

いつも心に福島の空を！

祝・桜の聖母学院高校第65回卒業式

桜の聖母学院の前身・雛菊幼稚園の開園から、80周年となった昨年は、桜の聖母学院初等学校の開校から72年、同高等学校の開設からは66年にあたる。この長い歴史と伝統を持つ本校は、2019年3月1日、第65回目となる卒業生を世に送り出す。平成が終わり新たな時代を迎えようとする今、東日本大震災から8年を迎える福島から、新しい世界へと旅立つ卒業生138名に、各方面より惜しみない祝福が贈られる。

学校長賞には過去最多のべ20名が

卒業する学年は、常連の卓球部をはじめ、サッカー部、ソフトテニス部の3競技がインターハイ全国大会出場という、本校運動部史上最高の実績を残した。それを反映して文化活動・スポーツ活動では、16名もの生徒が学校長賞に輝いた。

私たちの校舎から望む、安達太良山（左）と吾妻山（右）

卓球部からは、小林聖佳さん・髙橋沙希さん（以上4組）、續橋千帆さん（5組）の3名。サッカー部は大波桃子さん・鈴木桜子さん（以上4組）、阿部菜々子さん・小野寺ゆきさん・黒津未黎さん・針生紗紀愛さん（以上5組）の6名。これら2競技は、3年間を通し団体での全国大会出場だった。2年次に悲願の団体全国出場を果たしたソフトテニス部からは、遠藤日花梨さん・髙橋彩寧さん（以上4組）、下川さくらさん（5組）。下川さんは個人（ペア）では3年連続で全国の舞台を踏んだ。

續橋千帆さん

髙橋沙希さん

小林聖佳さん

文化活動では放送部から、NHK杯高校放送コンテスト全国大会にアナウンス部門で出場した、草野愛菜さん（4組）と、朗読部門の中村天音さん（4組）の二人。文化部のインターハイと呼ばれる全国高校総合文化祭に、詩吟剣詩部門で出場した糠澤美羽さん（4組）、さらに高校生平和大使に選ばれ活動した高橋伶奈さん（2組）にも、学校長賞が贈られる。

学業成績では、大波桃子さん（4組）と古田奏さん（5組）が該当。古田さんは3年前期の生徒会長も務め、大波さんはスポーツ活動とのダブル受賞で、文字通りの文武両道を貫いた。

生徒会活動では、1年後期から3年前期までの4期連続で役員を務めた、西村優花さん（1組）と宍戸菜々さん（4組）が受賞。

小野寺ゆきさん

大波桃子さん

阿部菜々子さん

針生紗紀愛さん

鈴木桜子さん

黒津未黎さん

皆勤賞と精勤賞は次の通り（敬称略）。後輩の皆さんも、これらの先輩方を目標に努力を続けてほしい。

【皆勤賞】
1組　西村　優花
2組　池田　里歩
　　石井　蒼未
　　小針　英琳
　　三枝　真子

髙橋彩寧さん

下川さくらさん

遠藤日花梨さん

【精勤賞】
2組　石井　綾乃
　　金澤　希
　　吉田　郁恵
3組　星　萌加
　　米屋　千陽
　　朝倉　愛惠
　　加藤　有希乃
　　菅原　亜莉紗
　　畠山　奏穂
　　渡邉　佳乃
4組　片平　百香
　　髙橋　沙希
　　丸山　千尋
　　渡邊　菜月
5組　小野寺　ゆき
　　黒津　未黎
　　古田　奏
　　三浦　樹那

西村優花さん

宍戸菜々さん

古田奏さん

「聖マルグリット・ブールジョワ賞」
学校長賞受賞の対象となった生徒のうち、特に優れた功績を残し、在学中の後輩のみならず、後年にわたって後輩の良き模範となると認められる者

「学校長賞」
高等学校在学中の学業成績・生徒会活動・文化活動・スポーツ活動において、優れた功績を残し、後輩の良き模範となる者
(1)学業成績
3学年を通して真摯に学業に臨み、各学年末評点平均が90点以上である者
(2)文化活動・スポーツ活動
部活動や校外活動において、インターハイや国体などに出場するなど著しく活躍した者
(3)生徒会活動
4期連続して生徒会役員として、積極的に生徒会活動に貢献した者
（但し、4期連続者のいない学年は、3期とする）

「皆勤賞」
3年間を通して、無欠席・無遅刻・無早退である者

「精勤賞」
3年間を通して無欠席であり、遅刻・早退の合計が3回以内の者
（但し、3年次の出欠扱いは、1月末までとする）

4組　大谷　野乃子
　　大波　桃子
　　佐久間　奈菜
　　佐藤　萌

中村天音さん

草野愛菜さん

長澤　仁奈
菅野　実央
渡邉　玲奈

糠澤美羽さん

高橋伶奈さん

平成31年度入試　大学合格者数

2019年2月15日現在

学校名	学部名	合格者数
福島大学	人文社会学群	1
福島県立医科大学	看護学部	2
都留文科大学	文学部	1
石巻専修大学	理学部	1
茨城キリスト教大学	看護学部	1
いわき明星大学	看護学部	1
岩手医科大学	薬学部	1
奥羽大学	薬学部	1
桜美林大学	芸術文化学類	2
学習院女子大学	国際文化交流学部	1
関西学院大学	文学部・法学部	2
神田外語大学	外国語学部	2
京都華頂大学	現代家政学部	1
国立音楽大学	音楽学部	1
恵泉女学園大学	人文学部	1
郡山女子大学	家政学部	1
國學院大学	法学部	1
国際医療福祉大学	保健医療学部	1
札幌大学	地域共創学群	1
秀明大学	学校教師学部	2
城西国際大学	メディア学部	1
上智大学	外国語学部・神学部・総合人間科学部・文学部	5
尚美学園大学	芸術情報学部	2
昭和女子大学	人間社会学部	1
女子栄養大学	栄養学部	2
杉野服飾大学	服飾学部	1
聖心女子大学	現代教養学部	1
洗足音楽大学	音楽学部	1
仙台大学	体育学部	2
大正大学	人間学部	1
帝京大学	医療技術学部	2
帝京平成大学	現代ライフ学部・健康医療スポーツ学部	2
桐蔭横浜大学	医用工学部	1
東京家政大学	家政学部	2
東京純心女子大学	現代文化学部	1
東京女子医科大学	看護学部	1
東京女子大学	現代教養学部	2
同志社大学	文化情報学部	1
東北医科薬科大学	薬学部	1
東北学院大学	教養学部・経済学部・文学部・法学部	9
東北芸術工科大学	芸術学部・デザイン工学部	3
東北福祉大学	教育学部・健康科学部・総合福祉学部	11
東北文化学園大学	医療福祉学部	1
東洋学園大学	グローバル・コミュニケーション学部	1
南山大学	外国語学部	1
新潟医療福祉大学	リハビリテーション学部	1
日本医療科学大学	保健医療学部	1
日本女子大学	文学部	1
日本大学	工学部・国際関係学部	3
日本文化大学	法学部	1
白鴎大学	教育学部	1
八戸学院大学	健康医療学部	1
フェリス女学院大学	文芸学部・国際交流学部	2
福島学院大学	福祉学部	1
宮城学院女子大学	教育学部	2
武蔵野音楽大学	音楽学部	1
和光大学	表現学部	1

知っておきたい郷土の歴史

「松川事件」と「智恵子抄」

戦後日本の闇・松川事件から70年

8年前の東日本大震災と原発事故で、世界にその名が知られることとなった福島だが、戦前から戦後にかけても歴史に残る事件が起こり、著名人が出ている。今回は福島市中心部から南へわずか20km近辺にゆかりの地がある、今年で70年となる「松川事件」と、昨年没後80年だった「智恵子抄」の高村智恵子にスポットを当てて取材した。

東北本線上り線路脇に建つ「松川の塔」（福島市松川町）

日本史の教科書にも、蒸気機関車が転覆した大きな写真が載っている松川事件。現在の福島市南部の松川町（当時は信夫郡金谷川村）で起きた列車脱線事故により3人の犠牲者が出たが、明らかに故意に線路が外されて起こったため、事故ではなく事件と呼ばれる。70年前の1949（昭和24）年といえば、まだGHQ（連合国軍総司令部）による占領が続いていた頃だが、この年の夏に立て続けに3つ起こった、日本国有鉄道（現在のJR、以下国鉄）を巡る一連の謎の事件の一つだ。

7月5日、当時の国鉄のトップだった下山定則総裁が行方不明となり、翌日未明に常磐線の貨物列車に轢かれた轢死体で発見されるという衝撃的な「下山事件」（未解決のまま時効）に端を発し、そのわずか10日後には、東京の国鉄中央線三鷹駅付近で無人列車が暴走するという「三鷹事件」が起こった（犯人とされた死刑囚は獄中で病死）。

そして約1カ月後の8月17日未明、当時単線だった東北本線の松川駅～金谷川駅間（現在の下り線）で、何者かによって25mもの線路が外され、青森発上野行きの旅客列車が脱線転覆、機関車の乗務員3名が殉職するという事件が起きた。警察は、国鉄や近くの東芝松川工場（現在の北芝電機）の労働組合員など20名が、当時進められていた国鉄の人員整理に反発して起こした事件と見て逮捕。裁判の中でいったんは死刑判決なども出されたが、当時の知識人や作家らが冤罪を主張して世論に訴え、14年後の1963年9月12日に20名全員の無罪が確定、真犯人は謎のままで終わった。

現在の事故現場には、今は下り線が走っている線路脇に慰霊観音像と殉職碑が建ち、200mほど離れた複線化後に上り線が走る線路脇には、「松川の塔」（写真）が建っており、列車の車窓からも見つけることができる。この塔は、20名の無罪を信じて支援した人々が、無罪確定の1年後の1964年に建立したもの。また当時の裁判資料や、広く国民的運動となった支援者たちの膨大な活動の記録は、現在福島大学の松川資料室に保管されている。

70周年となる今年、この資料をユネスコ世界記憶遺産に登録しようとする運動が起こっている。福島に住む者として、ぜひ知っておきたい昭和史、戦後史のひと幕だ。

智恵子が愛した光太郎とほんとの空

資料提供：二本松市教育委員会

「あれが阿多多羅山
あの光るのが阿武隈川」
（高村光太郎詩集『智恵子抄』の「樹下の二人」より）

詩人・彫刻家の高村光太郎が、亡き妻・智恵子の思い出を綴った詩集『智恵子抄』は広く知られているが、その主人公である高村（旧姓長沼）智恵子は、現在は二本松市の安達郡油井村に1886（明治19）年に生まれ、福島高等女学校（のちの福島女子高、現在の橘高校）に学び、当時の女性としては非常に珍しく東京の日本女子大学校家政科に進学した。

卒業後は幼い頃から得意だった洋画の勉強を続けるため東京に残り、1911（明治44）年に平塚雷鳥によって創刊された『青鞜』の表紙を描いて注目を集める。写真は1912（明治45）年6月5日の読売新聞に「最も新しい女画家・長沼智恵子」として紹介された、26歳の智恵子。この頃から光太郎との交際が始まり、1914（大正3）年に結婚。光太郎の父・光雲の家のアトリエで、貧しいながらも互いの創作活動に打ち込む日々を送った。

しかし次第に病気がちになった智恵子は、一年の3～4か月を故郷の二本松で過ごすようになったが、1929（昭和4）年に実家の造り酒屋が倒産して一家は離散、智恵子は帰るべき故郷を失う。

「智恵子は東京に空が無いといふ、ほんとの空が見たいといふ。（中略）阿多多羅山の山の上に毎日出てゐる青い空が智恵子のほんとの空だといふ。」
（『智恵子抄』の「あどけない話」より）

今でいう統合失調症の病状が現れ、1935（昭和10）年に南品川のゼームス坂病院に入院。この頃から病床で紙絵制作を始め、千数百点の作品を遺し、1938（昭和13）年に53歳で亡くなった。この年は桜の聖母学院の創立である雛菊幼稚園開園の年でもあり、昨年で80年となった。

今回取材した智恵子の生家と智恵子記念館は、1991（平成3）年に当時の安達町（2005年に二本松市と合併）が購入して整備、翌年から公開されるようになったもの。長沼家の破産後に敷地や建物は分割されて人手に渡っていたが、母屋と裏の酒蔵の所有者が解体せずそのまま使い続けてくれたことで、明治初期に建てられた生家が奇跡的に現代に残った。酒蔵は記念館として建て直され、智恵子の紙絵などを展示している。その展示の中の智恵子の言葉が、この時代にして彼女がいかに自立した女性だったかを物語っている。

「世の中の習慣なんて、どうせ人間のささえたものでしょう。それにしばられて一生涯自分の心を偽って暮らすのは、つまらないことですわ。わたしの一生はわたしがきめればいいんですもの、たった一度きりしかない生涯ですもの」。

当時のままに復元された、実家の長沼酒造（二本松市油井）

大正デモクラシーの担い手でありながらも、物静かな女性だったという智恵子。同じ福島の県北地方の同郷人として、その生きざまに共感を覚えた。

センター試験はいよいよあと一回

進路指導部長・吉田充先生に聞く

私たちの親の世代が受けた、1979（昭和54）年から1989（平成元）年まで実施されたマークシート形式の「共通一次試験」に続き、1990（平成2）年から約30年にわたって行われてきた「大学入試センター試験（以下、センター試験）」は、現在の高校2年生が受ける来年2020年1月のものでいよいよ最後となる。その最終回の前の回となった今年のセンター試験が終わった1月下旬、進路指導部長の吉田充先生に、今回の試験や今年の受験動向、そして1・2年生がなすべき準備や対策などについてお尋ねした。

Q：今年のセンター試験の傾向はどうでしたか？
A：最終回の前ということもあってか、全体的にオーソドックスで穏やかな出題。ただ新傾向の問題もあり、日本史の史料問題など、実践的な読解力が求められました。
Q：最後のセンター試験を受ける現2年生、そして最初の「大学入学共通テスト（以下、共通テスト）」を受ける現1年生が、今なすべきことは？
A：いずれにせよ基礎基本を反復することが大切。とにかく復習が大事で、復習をおろそかにする人は伸びません。授業で指名された時に答えられないのを恐れてか、予習だけに力を入れる人もいますが、復習も大切にしてください。そして1・2年生の間は、国・数・英をとにかく頑張り、基礎を固めてください。理・社ももちろん大切ですが、3年生になってからの追い込みでも、ある程度は大丈夫。

2021年1月に初回が実施される共通テストは、国語と数学での一部記述式の導入と、英語の民間試験の利用がとにかく注目されていますが、実は全体の7割くらいはこれまでと変わりません。ただしセンター試験よりも実践的な思考力を問う問題が増えることが予想され、丸暗記や要領の良さだけでは対応できない傾向が強まります。

Q：そのためにはどのような力をつける必要が？
A：読解力が、すべての教科の基本となります。その力をつけるためには、普段から新聞を読んだり読書をする習慣が不可欠です。高校生の今の時点でそのような習慣がない人は大変ですが、今からでも遅くはありません。スマホやインターネットの時代となり、活字を読む人と読まない人の格差は確実に開いています。新聞をとっていない家庭もあるかもしれませんが、まず各クラスに常備されている新聞を、毎日読んでみることは今からすぐにでもできます。読解力や語彙力を高めること、わからない言葉はすぐ調べることが大切です。そのために電子辞書やスマホを使うことは問題ありません。便利な道具は有効に活用しましょう。ただし基本は活字を読むことだということを忘れずに。
Q：得意科目を伸ばすにはどうすれば良いですか？
A：自分のスタイルにあった勉強方法を確立し、好きになることです。
Q：苦手科目を克服するには？
A：苦手意識をなくすこと。そのためにはその科目の、とっつきやすい一部だけからでも取り組み、それを繰り返すことです。
Q：小論文対策は？
A：先ほど述べた、新聞などを読むことがすべての基本となります。自分の意見を述べる、つまりアウトプットができるためには、まずインプットしておくことが大前提です。材料を集めるには実際に体験するのが一番ですが、今からでは時間的にも難しいので、それを新聞や読書、場合によってはインターネットやTVからも入手できます。
Q：卒業生と在校生にそれぞれメッセージを。
A：卒業する3年生の皆さん、最後の最後まで頑張ってください。吉報を待っています。

在校生の皆さん。次は皆さんの番です。まずは日々の授業に頑張って取り組んでください。

▼1月27日、日本中、いや世界中に衝撃が走った。今年デビュー20周年を迎えるアイドルグループ「嵐」が、2020年12月31日をもって活動を休止することが発表された。それ以降はしばらく個々人での活動になるという▼「嵐」の5人は、東日本大震災が起こった2011年から、被災地支援チャリティーイベントとして、東京ドームや京セラドームを巨大な教室に見立てた「ワクワク学校」を毎年開催。震災の翌年には福島と宮城で「ワクワク学校課外授業」を、2014年にはいわき市でミニライブと握手会を開催するなど、継続的に支援活動を続けてきた▼2015年に宮城で開催したコンサート「ARASHI BLAST in Miyagi」の経済効果は、93億円にのぼったとされる。被災者の中にも「嵐」から生きる勇気をもらった人も、少なくないだろう。今はその5人の決断を応援することが、せめてもの恩返しではないか▼全く違う立場から世界に大きな影響力を持つのが、カトリック教会の頂点に立つローマ教皇だ。6年前に着座した第266代教皇フランシスコの、初来日決定の一報が昨年末に届き、さらに1月24日には「今年11月下旬」と具体的な日取りも伝えられた▼訪問地はまず東京、そして核兵器廃絶に強い思いを抱く教皇として、広島と長崎が挙げられているが、詳細はこれからのようだ▼教皇は、原爆投下直後の長崎で撮影された、死んだ弟を背負い火葬場で順番を待つ少年の写真を見て心を打たれ、全世界の指導者はこの写真を見るべきだ、とメッセージを発している。ならば、平和利用ではあるが同じ原子力・核分裂を使った発電所の事故にも、無関心であるはずはない▼東京と広島・長崎なら、38年前にローマ教皇として初来日した、ヨハネ・パウロ2世と同じ。フランシスコ教皇には、ぜひこの機会に日本で3番目の被ばく地・福島にも来てもらい、今なお収束の見通しがつかず復興が遅れている、浜通りの地で祈りを捧げてほしい▼日本では今年、生前退位する今上天皇から、現皇太子の即位という大きな節目を迎える。4月1日に発表という新元号にも関心が集まるが、新しい時代にどんな日本をつくっていくのか、全国民が考える良い機会としたいものだ。

安斎先輩の案内で行く 東京外国語大学キャンパス見学記

英語教育・国際教育を特色とする本校から、もっと進学者がいてもよい大学の一つが、国立で唯一の外国語大学である東京外国語大学だ。昨年ここに本校英語科から一人の先輩が合格・入学したことで、続いて合格者が出ることを願い、早速その安斎ゆらら先輩に大学をご案内いただき、その魅力を紹介することにした。

日本で唯一の国立外国語大学

神田外語大学など私立の外国語大学や、上智大学をはじめとする外国語学部を持つ私立大学、また公立の外国語大学などは全国各地にあるものの、国立（国立大学法人）の外国語大学となると、戦後このかた「東の東京外大、西の大阪外大」の二大学が双璧となってきた。

国立外国語大学の利点は、中央アジアや南アジア、アフリカといった地域の言語など、専攻する学生が少なく私立では設置が難しい言語でも、国立であるがゆえに設置可能なこと。それらの国々にも必ず日本大使館があり、日本企業などが進出している限り、数は少なくても確実にニーズはあり、日本におけるその言語のエキスパートが必要になる。そうした言語を習得すれば、その国と日本の懸け橋となる、希少な人材として活躍できるわけだ。現在、東京外国語大学言語文化学部の専攻言語の中には、モンゴル語、ラオス語、ビルマ語、ヒンディー語、ウルドゥー語、ベンガル語等々、まずここでしか学べないユニークな言語が並び、国際社会学部の専攻地域には、アフリカやオセアニアなども設置されている。

ところが2007年、西の大阪外国語大学が、旧帝国大学の一つである大阪大学と合併し、大阪大学の外国語学部となった。もちろん大阪外国語大学の研究や教育は、そのまま大阪大学の一部として移管されているが、これにより日本で外国語大学を名乗る国立大学は、唯一無二の東京外国語大学のみとなったわけだ。

その東京外国語大学（以下、東京外大）の起源は、遡ればペリー来航の4年後に開設の江戸時代末期の「蕃書調所」にたどり着くが、のちのスタイルに近いものは1873（明治6）年開校の、英・独・仏・露・中の5言語学科をそろえた東京外国語学校で、東京外大ではこの年を「建学の年」と呼ぶ。しかしこの学校は、1887年に他の学校と合併して東京商業学校（のち高等商業学校、現在の一橋大学）となり、独立した外国語学校は一旦姿を消した。

しかし10年後の1897年、高等商業学校に附属する機関として、外国語学校が再興される。東京外大ではこの年を「創立の年」とする。さらに2年後の1899年、東京商業学校附属外国語学校は東京外国語学校と改称されて独立、以来貴重な国立の外国語教育機関として歩み続けてきた。東京外大では1899年を「独立の年」と言うが、始まった年を3通りも定める学校も珍しい。我が桜の聖母学院も、1658年のカナダ・モントリオールにおけるマルグリット・ブールジョワによる最初の学校創設と、1938年の福島での雛菊幼稚園の創立、さらに1946年の桜の聖母学院初等学校の開校の、3つの年にそれぞれ名前をつけて祝ってはどうだろうか。

東京外大中央広場のモニュメント前にて。中央が安斎ゆらら先輩

本校から久々に東京外大に進学

東京外国語学校は1940年以降、東京北西部の北区西ケ原にキャンパスを置き、戦後の1949年、新制大学として現在の東京外大となった。そして2000年に、東京西部の府中市にキャンパスを移転し、現在に至っている。府中市は都内の「生活実感満足度」ランキングで、常に武蔵野市と1位を争う自治体。すぐ北には、私たちが1年前に取材した国際基督教大学がある三鷹市、南は桜の聖母学院の設立母体であるコングレガシオン・ド・ノートルダムの日本における本部である調布修道院や、姉妹教育機関のマルガリタ幼稚園がある調布市と接している。東京都心から40分ほどで行けるこの多摩地区は、一橋大学、東京学芸大学、東京農工大学、電気通信大学などの国立大学や、多くの私立大学もキャンパスを構える文教地域だ。

「アライバル・コート」と呼ばれる、校門も塀もない開放的な正面入口

かつては外国語学部のみの単科大学だった東京外大だが、2012年の学部改編で前述の言語文化学部と国際社会学部の二学部が設置され、さらに2019年度からは国際日本学部が加わる予定。その東京外大言語文化学部カンボジア語専攻に、昨年の一般入試前期で6倍の競争率を突破して現役合格したのが、本校英語科卒業の安斎ゆらら先輩（桜の聖母学院中出身）だ。その先輩に会うべく私たちは、12月のとある土曜日に、新聞部の得意技「青春18きっぷ」で福島駅発6時01分の各駅停車に乗って、5時間余りかけて首都圏へ。新宿駅からさらに中央線で西へ約30分、国際基督教大学へ行った時と同じJR武蔵境駅で下車後、西武多摩線に乗り換えると車内はもう若い外国人女性たちのフランス語が飛び交う。土曜日は授業もなく、都心に買い物に出た留学生たちが自宅に帰る途中なのだろう。

二つ目の西武多摩駅で降りて徒歩数分。新しく開放的なキャンパス内はとても閑静だったが、授業のある平日には留学生を含む国際色豊かな学生たちで賑わうという。外国語大学だけあって、日本人学生の中では女子の比率が高いが、とりわけ安斎先輩が所属するカンボジア語専攻の1年生は、何と10名全員が女子とのことで、これはさすがに特別らしい。

ところで数学Ⅱや数学Bを履修しない本校英語科から、センター試験でそれらが必要となる一般入試で国立大を受験するのは、通常は不可能。これまで英語科から国立大に入った先輩たちも、AO入試や推薦入試で合格してきた。しかし安斎先輩は、当初から地元福島の国立大学をめざして数学Ⅱや数学Bを独学で学び、センター試験後に担任の先生の勧めと、元々アジアの国々に関心があったこともあってこの東京外大を受験、見事合格を果たした。入ってみると東京外大は4学期制で毎日の課題も多く、間にアルバイトやサークル活動を入れようものならあっという間に1週間が終わってしまう、大変充実した学生生活だそうだ。自分が専攻する言語の国へ、1年間ほど留学する学生も多いが、安斎先輩は今のところカンボジア留学の予定はない。留学どころか厳しい授業のために留年してしまう学生も少なくなく、安斎先輩もまずは進級を目指し、クメール文字のカンボジア語と格闘する日々だ。

卒業生には「西郷どん」や紅白アナウンサーも

私たちが案内していただいた大学内の施設の中で、最も「外大らしさ」を感じたのは図書館だ。広く新しい図書館の巨大な電動式書架にも驚いたが、日本では恐らくここでしか読めないであろう様々な言語の外国語書籍がずらりと並んでいる。この大学から数多くの外交官や言語学者、世界各国で活躍する商社マンやジャーナリスト、また種々の国際機関などで働く日本人が、世界へと羽ばたいて行ったことがうかがわれる。

東南アジアの言語の書架にあるカンボジア語辞典を見せる安斎先輩

そんな東京外大の卒業生の中で、最近最もホットなブレークを果たしたのは、昨年の大河ドラマ「西郷どん」で主役を演じた、鈴木亮平（英語専攻）だろう。安斎先輩（桜の聖母学院中出身）だ。

大学受験 現役 合格体験記

この新聞発行の時期の都合上、一般受験も含めたすべての結果を掲載できないのは残念だが、既に合格を決めた3年生の方々の声を紹介する。後輩の皆さんは、これら先輩方の貴重なアドバイスを参考に、今後の高校生活を過ごしていただければ幸いである。

氏名（出身中）
合格大学・学部・学科
【受】受験方式
【動】志望校を決めた動機
【勉】高校時代にこころがけた勉強方法
【活】高校時代、勉強以外に打ち込んだ活動
【桜】桜の聖母学院で学んでよかったこと
【後】後輩へのメッセージやアドバイスなど

大波桃子（伊達市立伊達中）
【国】福島大学人文社会学群 人間発達文化学類 人文科学コース

【受】センター利用推薦
【動】地元福島で教員になりたかったから。
【勉】部活動でとても忙しかったので、一つひとつの授業に集中し、休み時間などの隙間時間を効率よく使うことをこころがけた。
【活】サッカー部の部活動。全国大会を目指して毎日練習を頑張った。
【桜】サッカーをやりたくて桜の聖母に来て、インターハイ全国大会にも3年連続で出場でき、勉強面でも先生方のサポートのおかげで第一志望の大学に合格し、すべての夢をかなえられた3年間だった。
【後】3年間勉強や部活動で辛いことも多いでしょうが、自分に負けずストイックに頑張ることで、必ず夢はかなえられる！自分の力を信じて走り続けてください。

星萌加（福島大学附属中）
【公】福島県立医科大学 看護学部看護学科

【受】公募推薦
【動】小さい頃から看護師になるのが夢で、東日本大震災を経験して福島の復興・再建に医療という形で貢献したいと思った。医学部が併設され、附属病院での実践も充実している地元のこの大学に決めた。
【勉】入試は英語と小論文だったので、特に英語に力を入れた。空いている時間には、医療関係の用語を中心にとにかく単語を覚え、長文対策は英語の先生方に相談し、プリントをいただくなどした。
【活】理科部ではチームに分かれ、実験考察等を行い、2年生の時に県大会で優秀賞を受けた。看護体験では、実際に体験することで看護師として働きたいという思いが強くなり、受験勉強にも力が入った。
【桜】進路を考えたり受験勉強をする中で、先生方に相談や質問をすると、親身になって答えてくださったこと。たくさんの個性豊かな友達に出会えたこと。
【後】私は早い段階で志望校が決まっていたので、早目に受験に向かって動き出せましたが、志望校が決まらなくても、自分が進みたい道や興味あることを調べ、それに関する活動等に参加してみてはいかがでしょう。何か目標があれば、人は頑張れると思います。残り1年もしくは2年の高校生活を後悔しないよう、一分一秒を大切にしてください。

樋口冬香（福島市立野中）
【公】福島県立医科大学 看護学部看護学科

【受】公募推薦
【動】東日本大震災と原発事故を経験して、現在でも復興途上にある福島の人々の暮らしを、健康面から守り続けたいと思ったから。
【勉】その日に勉強する教科を前もって手帳に記入し、すべての教科をバランスよく勉強した。暗記したい単語などは紙に書き、家のあちこちに貼り付けて覚えた。
【活】毎年開催される、がんと向き合い共に支えあうことでがん征圧を目指す「リレーフォーライフ」というチャリティー活動に参加したこと。
【桜】たくさんの先生方が私を支えてくださったおかげで、頑張ろうという気持ちになったこと。
【後】特進コースではないからといって、国公立を諦めないでほしいです。進路のことで悩みがあるなら、すぐに先生方に相談してください。全力でサポートしてくれるはずです。あとは最後の最後まで、諦めずに勉強し続けることが大切です。

川本梨菜（福島市立第四中）
【公】都留文科大学 文学部英文学科

【受】公募推薦
【動】将来、中学高校の英語教師を志望している私にとって、教員養成のための授業や施設が充実しているこの大学が最適だと思った。オープンキャンパスで特別講義を受け、ここで学びたいという思いが強くなった。
【勉】どの教科も復習を心がけた。間違えたところは何度も解き直し、わからないところはわかるまで先生に聞いた。また毎月必ず勉強計画を立て、自分が今やるべきことを明確にしながら勉強するようにした。
【活】先生に勧められて入ったインターアクト部では、様々な経験や知識を得ることができた。現在の日本だけではなく世界の事情も知ることができ、以前の自分より様々なことに目を向けられるようになった。
【桜】英語科では多い日だと一日5時間以上英語の授業があるなど、英語に触れる機会がたくさんあったため、確実に自分の英語の力をつけることができた。また苦しかった時には多くの先生に支えていただくことで、困難を乗り越えられた。
【後】一番大切にして欲しいのは、自分だけでなくクラスのみんなのこともよく考えることです。誰か身近に頑張っている人がいたら、その人をただ応援するだけではなく、今その人がどんな気持ちで頑張っているかを考えてあげてください。そのことでクラスの雰囲気も良くなると思います。受験勉強頑張ってください！

利根川花子（伊達市立霊山中）
【私】上智大学 文学部新聞学科

【受】カトリック学校特別推薦
【動】マスメディアが社会に与える影響について興味があり、この大学以外にも似た学科を持つ大学もあったが、本校と同じカトリック学校ならではの校風や、留学生が多く国際的な環境は知見を広げるために最適だと感じ、志望校とした。
【勉】どの教科も手を抜かずに学習するよう、また毎日コツコツ予習復習をするよう心がけた。テスト前に勉強しただけでは、たとえ点数はとれても後になってから覚えていないということになりかねないので、どれだけ時間がかかっても理解し身に付けるまで勉強した。
【活】新聞部の活動。情報を発信する側を経験することにより、進路実現へのモティベーションを高められた。文章を書くことで語彙力を向上させられるので、楽しみながらも多くのことを学べる良い機会になった。
【桜】ありのままを表現することの大切さ。女子校だからこそ、共学校よりもそれぞれが活躍できる機会に恵まれていると思う。自分らしさをさらけだすことで、新しい自分の一面を知ることができた。
【後】高校の3年間は、自分探しをする良い機会だと思います。少しでも興味のあることには、ためらわず挑戦してください。挑戦してよかったと思う日が、必ずきます。そして仲間との出会いを大切に。仲間と切磋琢磨し助け合うことで、互いに大きく成長することができます。高校生活はあっという間です。なりたい自分を想像しつつ、学校生活を謳歌してください。

和田萌恵子（福島市信夫中）
【私】東京女子大学 現代教養部国際社会学科 国際関係専攻

【受】指定校推薦
【動】国際関係や英語に興味があったが、幅広く学びたいと考えていたので、この大学のリベラルアーツ教育に魅力を感じた。また教授と学生の距離が近い少人数教育は、桜の聖母の教育に似ていて自分に合っていると思ったから。
【勉】暗記科目はひたすら声を出して読み、書いて覚えた。苦手な数学は何度も問題を解き、わからないところは先生や友達に質問した。
【活】キャリアメンタリングプログラムという、他校の人たちと交流する活動。
【桜】進路や勉強について相談すると、とても丁寧に対応してくれる先生方や、個性豊かな友人と出会えたこと。多くの人たちとかかわることで、自分の視野を広げることができた。
【後】勉強は、計画を立ててコツコツ努力してください。いつか努力が報われる時がきます。また興味があることには積極的に挑戦してください。高校3年間は本当にあっという間に過ぎるので、勉強や部活動や遊びなど、悔いの残らないよう全力で頑張ってください。

畠山奏穂（桜の聖母学院中）
【私】関西学院大学 法学部政治学科

【受】指定校推薦
【動】国際情勢や海外の歴史的背景に関心があり、留学プログラムや留学生との国際交流制度が充実したこの大学で、国際的視野を広げたいと思ったから。日本一美しいというキャンパスも魅力的だった。
【勉】毎回の小テストで満点に近い点数をとれるように、隙間時間を使って勉強した。また定期テスト3週間前に、どの教科のどの分野を復習するかなど、具体的に計画を立てて勉強した。
【活】図書委員会の委員長。不安や困難はあったが、まとめ役としての大切さや強調性を経験できた。
【桜】授業前の一分間黙想。これによって頭の中で考えていることを整理する習慣がつき、入試本番でも緊張せず、心身ともにリラックスして挑むことができた。
【後】日々の勉強など、やるべきことを地道に粘り強く継続することが大切だと思います。学んだことは、決して無駄にはなりません。自分の将来をしっかり考えつつ、充実した高校生活を送ってください。

私の学生時代 ～トーマス・ニッセン先生の巻～

人生はいつも順調とは限りませんが、私の大学時代には良い思い出があります。私はアメリカ合衆国オレゴン州ポートランド州立大学の卒業生、ポートランドステートバイキング（注：この大学の運動部チームのニックネーム）の一員です。ポートランド州立大学は、ポートランド市の中心部にある都市型の大学です。多くの学生が働きながら大学に戻ってきた人たちで、たくさんの年上の学生がいました。校訓のラテン語「DOCTRINA URBI SERVIAT」は、「知識を町に役立たせよ」という意味です。

授業では心理学や文学、アメリカ史や作文が楽しかったですが、私は社会福祉を専攻しました。部活動やサークルには入りませんでしたが、空き時間には小さなジャズグループのドラムを担当していました。

社会福祉の授業は、すべてが実習でした。言い換えれば、地域社会の中で実際に働いてみることです。例えば私は、州の保護観察事務所でベテランの保護観察員と一緒に働き、面談をし、保護観察中の人の家庭訪問に行きました。そこで私は、アメリカの刑事裁判について、その問題点や良くないところも含め、多くのことを学びました。

4年生になって、私はポートランドの町のホームレスの人口を統計的に調査するチームの責任者をしました。この情報は、州政府が町のホームレスとその家族の数の増減を把握するために用いられました。数学は私の得意科目ではありませんでしたが、私は統計的調査を集めることの基本を学びました。当時はいま私たちが使っているような小さなパソコンなどありませんでしたから、冷蔵庫くらいのIBMコンピュータに挿入するためのパンチカードに、すべてのデータを打ち込まなければなりませんでした。その機械はうるさく気難しい屋でしたが、何とか仕事をしてくれました。

大学時代のトーマス先生

私は大学生活を楽しみましたが、お金に恵まれていたわけではありませんでした。私は生活のために、同時に3つのバイトを掛け持ちした時もありました。小さなアパートに住み、時々食べ物にも事欠きました。友達は私に、ドストエフスキーの『罪と罰』の貧乏学生にちなんで「ラスコーリニコフ」とあだ名をつけていました。

いま振り返ってみると、仲間の学生だけではなく、教授や地域の人々と育んだ友情を、愛おしく感じます。人生でこのような体験ができたことは、どんなに幸せだったかわかりました。いつかまた、母校を訪れてみたいものです。

編集後記

◆初の東京への電車旅は、想像していた以上に長かった。これまでの先輩たちを尊敬する（さそり座）
■福島から遠く離れた東京外大で、偶然友達に再会し、何か得体のしれないものを感じた（歌舞伎座）
▲全員でジャンプする写真を撮る時には、もう少しそろうよう練習をした方がいいと思う（ピ座）
★次回は取材に行きたいなあ。嵐に取材できないかな？（ヤク座）
♥これからも勉強と部活を両立させ、様々な場所に取材に出向きたいです（楽座）
☂前号の新聞で取材したひふみん次女さんに続き、元旦に東京で長女さんとひふみん本人に遭遇するという年の始め（銀座）
☆今回は何もすることがなかったが、できた新聞を見て満足しました（オペラ座）
＊福島の松川は、自然が豊かで綺麗な町です。そしてとてもおいしいラーメン屋さんがあります（かに座）
☀智恵子の見たほんとの空は、今でも本当にきれいだった（からす座）
◎智恵子さんになりたいと思いました。早くなれるようがんばります（ギョー座）

大切な写真は
●広々とした空間を持つ —ファミリースタジオ—
●緑に包まれた —ガーデンスタジオ—
●絵画が楽しめる —サロンスタジオ—
PHOTO SALON
わが家のメモリーアート
ワタナベスタジオ
〒969-1612 福島県伊達郡桑折町字西大隅3-13
TEL0245-82-3152 FAX0245-82-3622

コックさんのからあげ屋 野田町店
当店
桜の聖母学院高校 サーパス野田町
からあげ・各種弁当・お惣菜
TEL 024(533)0330
FAX 024(597)6772

新学期に向けてスタートダッシュ！
参考書フェア
辞書・電子辞書ご相談下さい。
FBN 文化情報発信館 西澤書店
大町店 福島市大町7-20 Tel.024-522-0161 Fax.024-522-4139
北店 福島市南矢野目字中江12-5 Tel.024-557-5101 Fax.024-557-5107

感動のそばに、いつも。JTB
旅は心の窓を広げます
お問い合わせ・お申込みは下記店舗まで。
—団体旅行—
㈱JTB福島支店
〒963-8004 福島県郡山市中町10-14 和久屋ビル2階
TEL 024-932-0657 FAX 024-933-6620
営業時間 9:30～17:30（土・日祝休業）
—グループ・個人旅行—
㈱JTB福島イトーヨーカドー店
〒960-8068 福島県福島市太田町13-4 イトーヨーカドー福島店1階
TEL 024-531-3090 FAX 024-531-3088
営業時間 10:00～19:00（イトーヨーカドーの休館日休業）

創業明治38年（1905年）
地域と共にさらなる1世紀へ
ISO 9001 ISO 14001 認証取得
総合建設業
㈱利根川組
代表取締役 利根川 靖幸
本社
福島県伊達市霊山町掛田字本山57番地1
TEL:(024)-586-3121
FAX:(024)-586-3122
URL:http://www.tonegawagumi.jp/
整備工場
福島県伊達市霊山町字本山56番地
TEL:(024)586-3181